

ふるさと名物応援事業補助金を活用 リミテッド エディション エリアモード 地方店発PB 取り組み拡大

そごう・西武は、本年3月より地方店発の新PBブランド「リミテッド エディション エリアモード」をスタート。地場企業との協業で地域の伝統技術や製品を取り入れ、店ごとに違った開発商品を加えて展開。地域のお客様から高いご支持をいただき、足元でも目標を2割上回って好調に推移。2015年秋冬はすでにスタートした14店舗に加えてそごう千葉店、大宮店でも展開スタートします。今回、これらの取り組みについて、経済産業省 中小企業庁が推進する「ふるさと名物応援事業(小売事業者等支援事業)」の補助金交付に採択いただきました。

これを最大限に有効活用することで、ブランド自体の認知度を拡大するとともに、お取引先地場企業への側面支援を行い、今まで以上に地域と一体となって地方創生に積極的に取り組んでまいります。

リミテッドエディション エリアモード 展開店舗(16店舗)

西武池袋本店、所沢店、福井店、高槻店、筑波店、船橋店、春日部店、秋田店

そごう横浜店、※千葉店、※大宮店、神戸店、広島店、徳島店、川口店、柏店 ※→15年秋導入店舗

経済産業省 中小企業庁では、地方創生施策の一環として、ふるさと名物の販路拡大をおこなう小売事業者等に対して、補助金申請を受付。地域活性に取り組むそごう・西武は、このたび「ふるさと名物応援事業補助金」の交付を受ける運びとなりました。交付された補助金については、各店エリアモードの地域開発商品を集めた販売会の実施や、お客様および新規お取引先への開拓に向けたファンサイト作成など、以下の事業に充当いたします。

【大都市圏店舗でフェアを実施】

各店での地域開発商品が好調に推移する中、大都市圏の店舗でも地域商品のニーズがあると判断。西武池袋本店では、地方店のエリアモードで展開中の地域商品のうち、人気商品を選びすぐってフェアを開催いたします(10月)。会場には地場企業の作り手が参加してお客様とコミュニケーションを図るほか、モデルによるファッションショー、トークなどのイベントも予定。地域の知られざる良品を大都市でご紹介し、エリアモード認知度拡大をはかるとともに、地域産業のサポートにつなげたいと考えます。

【ネット活用で双方向コミュニケーション】

西武、そごうそれぞれのHP上には、お客様やお取引先に向けたファンサイトを開設。当社と双方向のコミュニケーションをめざします。

【商品開発視点から販売動向を地場企業にフィードバック】

販売データのほか顧客の声やアンケート情報を地場企業に提供。一般消費者の反応をダイレクトに伝えることで、商品の開発および改良に役立てていただきます。

